



問 コミュニティバスの再編について問う

令和8年4月からデマンド型バスを導入する方向で取り組むとのことであったが、実証実験でのアンケートや、各地域の地域公共交通あり方検討会等からの意見、要望を踏まえた課題はどのようなであったか。

また、コミュニティバスの再編に向けて、現在の進捗状況や市民への案内など、今後のスケジュールはどのように考えているのか。

答 地域ごとの再編案づくりを進めている

実証実験の結果、地域によって少しずつニーズが異なり、一律のデマンド型バスによる運行方式ではそれぞれのニーズに十分対応できないことが分かったため、現在、地域ごとの再編案づくりを進めている。

令和7年7月から、改めて各地域の地域公共交通あり方検討会等で再編案についてご意見をいただき、方向性が固まり次第、議会での議論を経て、最終的には次期津市地域公共交通計画として取りまとめ、令和8年度から新しいスタイルでの運行開始を目指していく。

その他の質疑・質問

- 津市独自の産後ケア事業の取り組みについて
- 保育、教育施設の不審者等の侵入防止と、防犯訓練について
- 中勢バイパスについて
 - 全線開通による津市への効果は
 - 4車線化事業と、接続する市道整備の進捗状況は
 - 各種証明書等の交付について

古来からの護身の道具である「さすまた」は、不審者対策に有効である



問 「こぶ湯」の名を使って地域活性化を!!

ふるさと納税制度は、津市の地域や観光名所、著名人の名をアピールするチャンスである。

津市には、観光名所であるこぶの取れる霊泉として親しまれている「こぶ湯」の名を使った和菓子や津市にゆかりの著名人である藤堂高虎さんの名を使った農産物や和菓子もあるが、現在、津市のふるさと納税の返礼品に入っていない。

こういった商品を返礼品に追加する考えは。

答 津市のアピールにつなげるため、返礼品を増やしていく

返礼品の追加には、返礼品提供事業者始動の場合と市始動の場合がある。津市では、ふるさと納税管理運営業務委託業者に対し、専門的なノウハウを生かして、寄附者が希望する返礼品の動向、金額、数量、時期などを分析し、寄附者のニーズに合った返礼品を企画提案することを委託しており、津市が事業者アプローチをする場合もある。返礼品提供事業者の協力により、津市のふるさと納税が盛り上がり、津市のアピールにつながると考えており、今後も多くの事業者の協力によって、さまざまな種類の返礼品を増やしていきたい。

その他の質疑・質問

- 花街道景観整備事業について
 - 事業の概要は
 - 今後の対応は
- 令和7年度津市一般会計補正予算（第2号）
- 消防団運営事業について

榊原温泉への花街道景観整備事業の存続を

